公立陶生病院とは？

公立陶生病院は、尾張東部圏域(瀬戸市・尾張旭市・長久手市・豊明市・日進市・東郷町)で唯一の公立病院であり、瀬戸市・尾張旭市・長久手市の3市が共同経営しています。

救命救急センター、地域中核災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院などの指定を受け、救急医療や小児医療などみなさまの安心・安全な生活を支える医療サービスを提供し続けています。

本特集では、地域に欠かせない医療拠点としてのさまざまな役割や取組を紹介します。

陶生病院HP

地域医療の最後の砦「断らない救急」

「断らない救急」をモットーに24時間365日救急患者を受け入れる体制を整え、命と向き合い続けています。必要な場合には、ドクターカーで医師と看護師が現場に駆けつけ、すぐに治療を開始します。

「新型コロナウイルス感染症」まん延時には、全国の至る所で救急搬送先が見つからない事態が発生する中、全職員が一丸となって極限まで患者を受け入れました。

公立陶生病院の魅力

・手術支援ロボット『ダヴィンチ』

体に小さな穴をあけるだけで手術ができる機器です。開腹手術よりも傷口が小さく、術後の痛みや回復時間が大幅に軽減されるほか、出血量の減少や術後合併症のリスク低減も報告されています。

・「応援ケア」に注力

手術や治療後も筋力を維持し、「退院後も今まで通りの生活」ができることを目指して、看護局が「応援ケア」に力を入れています。

あらかじめ看護師が患者さんに退院後の不安や希望を伺い、その後のケアにも一緒に取り組みます。例えば、誤嚥性肺炎予防の「ごっくん体操」や「フレイル予防体験」に一緒に取り組んだり、退院後の栄養メニューを考えたりします。

また、寝たきりにならないよう骨粗鬆症看護外来を運営し、骨粗鬆症予防ケアを提案しています。

地域医療を支える 公立陶生病院

Tosei General Hospital

問 健康推進課　☎63-3300

お母さんと子どもを守る

・産科クリニックとの協力体制

出産時は地域の産科クリニックと密に連携し、緊急時に医師と看護師が救急車に同乗して新生児を迎えに行く「迎え搬送」も行っています。

・産前・産後ケア、子育て支援

自然なお産を希望する場合の院内助産や、妊娠期～卒乳をサポートする母乳外来を通じて、母親(他院での出産者を含む)と赤ちゃんの支援を行い、子育ての不安や悩みを軽減します。また、癇癪(かんしゃく)がひどい、じっとしていられない、言葉が遅いといった子育ての不安や悩みに寄り添う専門外来「子どものこころ診療」を開設し、子どもの心や発達に関する相談を実施しています。

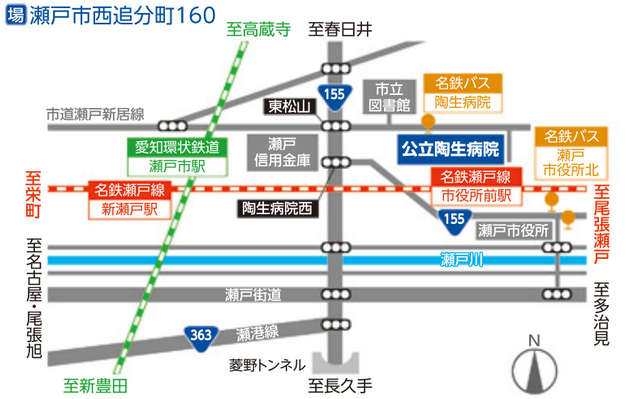
みんなが集う陶生病院 ―イベント・施設紹介―

誰でも訪れることができるギャラリーや飲食店のほかに、定期的に講座やお祭りを開催しています。

地域を支える

共同経営する3市(瀬戸市・尾張旭市・長久手市)の負担金の合計は、2026年度の当初予算で約29億円。本市はそのうちの約1.4億円を負担しており、地域の安心安全を支えています。

公立陶生病院　☎82-5101

外来受付8:30～11:30(再診8:15～) 土・日・祝日・年末年始休診

場 瀬戸市西追分町160